

2018年度

理研イブニングセミナー

参加無料

理研の研究成果と研究活動を産業界に伝え、連携に結びつけることを目的として、企業の方を対象としたイブニングセミナーを開催します。

時間

17:30 ~ 18:30

(発表 30分、質疑応答 30分)

※講演後に名刺交換などの交流の時間を設けます。

会場

東京連絡事務所

東京都中央区日本橋 1-4-1
日本橋一丁目三井ビルディング 15階
(COREDO 日本橋)

<http://www.riken.jp/access/tokyo-map/>

定員

各回 40名 先着順 (1企業 2名様まで)

※ご希望の回ごとにお申し込みください。

参加対象は企業の方限定とさせていただきます。
お申込は事前登録制とさせていただきます。



第45回

会場：東京連絡事務所（東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階）

4/18 (水) 『核酸をデジタル計測できる DNA 分子バーコード法の原理・注意点・新機能・応用例』

発表者：城口 克之（生命機能科学研究センター 細胞システム動態予測研究ユニット）

次世代シーケンサによる DNA の配列解析において、より正確な配列決定や高精度の定量のために、近年 DNA 分子バーコード法がよく使われています。本セミナーでは、演者らが報告した DNA 分子バーコード法の新機能 (http://www.riken.jp/pr/press/2017/20171019_2/) や、細菌叢解析への応用などについて紹介いたします。



第46回

会場：東京連絡事務所（東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階）

5/9 (水) 『非極性深紫外 LED
～従来の限界を打破する結晶デザイン～』

発表者：定 昌史（平山量子光素子研究室）

窒化物半導体の結晶構造に起因した分極は、極性面を用いるかぎり避けられない課題としてデバイス設計に大きな制約を課してきました。従来の限界を超えた高性能を実現するには、非極性面を用いた結晶成長、デバイス作製が重要となります。医療・殺菌・浄水・農業分野への幅広い応用が期待される深紫外 AlGaIn 発光ダイオードにおける非極性面の採用と展望について述べます。



第47回

会場：東京連絡事務所（東京都中央区日本橋 1-4-1 日本橋一丁目三井ビルディング 15階）

5/23 (水) 『超高感度での液体内の生体分子・病原性分子の定量化
～1分子レベル蛍光分光光度計、および1分子レベルプロテオーム解析技術のご紹介～』

発表者：谷口 雄一（生命機能科学研究センター 細胞システム制御学研究ユニット）

蛍光分光光度計は、液体内の蛍光量を光学的に読み取ることで、含まれる物質の定量・同定を行う技術であり、生命科学・医学の様々な分野で幅広く用いられています。我々のユニットでは、最近この装置の感度を1分子レベルまで向上させ、マイクロリットルレベルの液体内の分子の「数」を捉える技術の開発に成功しました。本セミナーでは、本技術の概要に加え、さらに本原理を応用して行う1分子レベルでのプロテオーム解析への展開についてお話しします。

【お問合せ先】 理化学研究所 科技ハブ産連本部 産業連携部 産業連携推進課
TEL : 048-462-5475 E-mail : evening-seminar@riken.jp



※ 参加ご希望の方は会社名、氏名、電話番号、希望する回（複数可）を記載の上、
件名を『理研イブニングセミナー参加申込』とし evening-seminar@riken.jp 宛にお申し込み下さい。

申込締切り
各回（各開催日）1週間前